

## 10 月 31 日：VN 指数は銀行株がけん引 (VN-Index +0.46%)

- 2024 年第 3 四半期の決算発表シーズンの中であることから、本日の VN 指数は上昇したものの薄商いの様相で寄り付いた。
- 前日終値付近を推移していたが、徐々に下落方向に市場は向かい始めた。
- 後場には、業績が発表された銘柄を中心に買い戻しの動きが強まり始め、流動性の増加を伴って上昇。その動きが大引けまで続いた。
- 大型株の決算発表があった銀行セクターが市場のけん引役となった。一方で食品・飲料セクターは軟調であった。
- 199 銘柄が上昇、169 銘柄が下落、67 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に増加し、前日比 42.0%減の 18.0 兆ドンとなった。

### VN30 指数は後場堅調 (VN-30 +0.36%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、18 銘柄が上昇、10 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずであった。
- MSN (-1.92%)、VRE (-1.92%)が軟調な推移を見せた。
- CTG (+2.73%)、VCB (+2.07%)の国営銀行 2 銘柄が大きく上昇した。

### セクター・個別株の動き

- VJC (+1.06%)は 2024 年第 3 四半期決算を発表。第 3 四半期までの売上高は 52.2 兆ドン（前年同期比+19%）、税引き前利益は 1.7 兆ドン（同+789%）を記録した。同社は現在、安定した国内線運行に加えて国際線路線の拡大戦略をとっている。
- VCB (+2.07%)は 2024 年第 3 四半期決算を発表。同社の第 3 四半期の税引き前利益は 10.7 兆ドン（前年同期比+18%）となり、年間利益目標の 75%を達成した。同社の資産は年初から 5%増の 1.93 兆ドンとなった。
- 外国人投資家は 1.67 兆ドンの売り越しとなった。売り越し銘柄では MSN (-1.92%) が最も売られ、買い越しでは VPB (+0.99%) が最も買われた。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。